

(特定非営利活動法人)

NPO法人 ワンニャン会

会報 第18号 2023.10

地域猫(TNR)をはじめて

藤井和代

昨年11月から「猫を捕まえて手術して元の場所に離す」という地域猫活動(TNR)を始めました。捕まるのかなという不安が半分、自分にできるのかという不安も半分でしたが、田辺市某所に野良猫がたくさん増えているのを目の当たりにして、「子猫を捕まえて飼い主さんを探す」というのでは猫が多すぎると感じましたからです。

まずは大人の猫から子猫までたくさん走り回っているFさん宅を訪れました。「猫の手術に協力いただけませんか？」とお願いしたところ了承してくれたので、Fさん宅の未手術の猫から始めました。Fさん宅では5年前に外飼いの猫を全て手術してもらったことがあったそうですが、その後残念なことにまた未手術の猫が十数匹増えたとのことでした。

最初はものの数分で檻に入ってくれてスピーディーに進みました。休日の度猫を捕まえ動物病院の先生に渡して、引き取りはワンちゃん会の中本さんに頼みました。

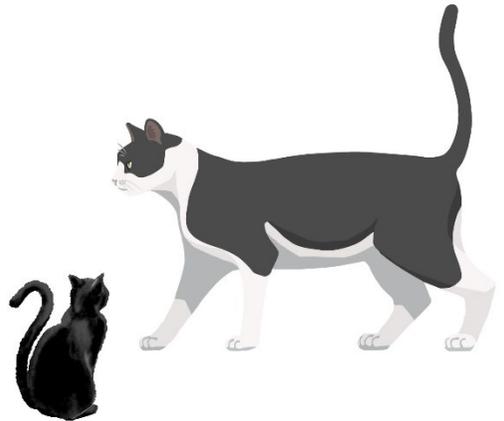
12月に入ってしばらくすると、来るのはほぼ手術をした猫ばかりになりました。でも週に1回ほどだけ餌を食べに来るメス猫がまだ捕まりません。

「あの猫は朝9時半と夕方5時頃に来る」というFさんの情報を頼りに、檻を朝から昼3時までかけ続けましたが結局12月は捕まえられませんでした、、、。

そんな時、ご近所のNさんの工場近くが野良猫の通り道になっているという情報をもらいました。もしかしてそっちがその猫のテリトリーかも、と考え檻をかけさせてもらいました。するとFさんが餌やりしている猫ではない別の猫が次々かかりだしました。

そのうち長毛種ミックスのメス猫がかかる事件も起きました。その時はこれは飼い猫なのでは？と疑い中本さんに頼んでマイクロチップの読み取りまでしてもらったりもしました。結局チップはありませんでしたが、飼い猫だと思い込んだ私は猫を預かりました。が、結局全く人慣れしていない野良猫で、最終的には動物病院の先生に相談して手術して元の場所に戻しました。

そうこうしているうちにもFさん宅の最後のメス猫はどうしても捕まりません。ある時、仕事の休前日の夕方にFさん宅で檻をかけることにしました。



Fさんには 外猫の餌やりを早く終わらせてもらいました。ご飯がすんだ猫達が全頭散歩に出かけた5時半頃、あの猫が現れました。20メートルほど離れて見ていたら檻に入って餌を食べています。これは捕まえられる！と喜んだのも束の間、なんと猫は踏み板をよけて餌だけ食べて行ってしまいました。捕獲檻は踏み板と呼ばれる板を踏まないと扉が降りないので…。

負けじと、次の休前日の夕方にも檻をかけました。今度は餌を食べている間に後ろに回って檻の扉を下ろそうとしましたが、気づかれ逃げられました…。

また中本さんに相談すると「補助板を使いましょう」とアドバイスをいただきました。100円均一の店でプラスチックのまな板を買って 踏み板に乗せました。踏み板が見えなければ、まな板ごと踏んで扉が閉まるはず…。

次の休日の前の夕方また檻をかけ、20メートルほど離れ姿を隠して待ちました。猫がやってきました。慌ててFさんの外猫の餌を隠し、またも私は物陰に隠れます。半ば諦め気味です、。待つこと5分ぐらいでしょうか、長い時間に感じます… その時カシャンという音が響きました！

ついにかかったのです！！見ると猫が檻の中で暴れています。近づいて本当にあの猫か確認しました。ついにFさんの地域猫の手術は完了です！！11月から2月中旬まで13匹の猫の手術と2匹の子猫の捕獲ができました。これには中本さんの多大なる協力がありました。檻の貸し出し、相談、猫の搬送、また猫によっては譲渡も。それからFさん、Nさん、Mさんからは猫の情報をいただきました。Nさんに至っては駐車場も提供いただき猫がかかれば電話もくれました。

ワンちゃん会と地域の方との協力があったことです。

やったことのない自分にできるかなと思っていましたが、協力してくれる人がいれば出来るのです。

ぜひ皆さんも1匹でもいいので野良猫を増やさないために手術をしませんか？

TNR ってなに？

- T Trap つかまえる
 - N Neuter 不妊・去勢手術をして耳をカットする
 - R Return 暮らしていた場所に戻す
- 後は餌やトイレの世話をして見守ります。

耳をさくらの花びらの形にカットしている猫は不妊手術をしている印です。繁殖することはありません。一代限りの彼らを見守っていきませんか？



家族を迎える

小阪加代子

私は、2014年5月に、県外の保護団体から、一匹のチワワを譲り受けました。名前は、福来(ふく)。

譲渡に際しては、家族構成・飼育環境はもちろん、金銭面での同意も必要でした。医療費3万円・あと、自宅まで送り届けるための、往復の交通費・寄付が、必要でした。合わせて7万円お渡ししたと思います。

我が家に来てからも、環境の変化からご飯は食べずお腹も下したりと、一週間位は大変でした。

5歳でブリーダーからのレスキュー犬。

元々お腹が弱かったのでしょうか。

フード選びも大変でした。しかも歯はほとんどなく、恐らくは7～8歳くらいではなかったのかなと思います。

怖がりで、私以外の家族に懐くことはありませんでしたが、可愛いひとり娘でした。なんとか散歩はできるようにはなりましたが、毎日同じ道でないと固まって、歩きませんでした。

新しい家族を迎えるには、精神的にも経済的にもそれなりの覚悟が必要です。

福来は、2年前に虹の橋をわたりました。

最後の数ヶ月は、認知症で介護が必要でしたが、幸せな7年間を過ごさせてもらいました(🍡)



みーちゃんのこと

多田弘美

4月のある日 ワンちゃん会のメンバー 5人で、あるワンちゃんの元に向かった。飼い主さんが要介護で 十分な面倒を見てもらえないままのワンちゃんがいると相談が入ったのだ。

おうちについたら、小屋の周りの大量の乾いたウンチと毛の塊が目に入った。数秒後 人の気配で小屋の入り口によるよろ出てきたワンちゃんの姿が見えた。白黒の毛色の小型犬だ。随分高齢に見える…フェルト状にぶら下がった毛がぶらぶら、見えてない様子の目は白内障で真っ白、お腹が空いてるのか 落ち着きなく何かを探している。空っぽの食器に取り急ぎ フードを入れると夢中で食べた。緑色の苔がついた水入れには汚れた水が入っている…。

少しでも早く、少しでも快適にしてあげたい。そんな思いでいっぱいになり スタッフ一丸になり大量のうんちや毛の塊を掃除し、汚れた食器を洗った。唯一ワンちゃんが安らげる場所であろう小屋もひどい状態だった。ワンちゃんが掘ったらしき地面にあいた大穴でひどく傾いていて、小屋の床は老朽化で穴があいていた。見ていると何度もそこに足が引っかかっている。

みんなで小屋を水平に戻し、小屋の床に開いた穴を工夫して埋めた。触ると小屋は崩壊寸前でグラグラだ…

短すぎるゴツゴツのロープで繋がれていたワンちゃんを、少しでも身軽にしてあげたくて持参していた軽い首輪とリードに変えた。そしてフェルト状になっていた毛の房を取り急ぎ切った…。

せめて嬉しかったのは、思いのほかワンちゃんが元気だったこと。

随分お年寄りみたいだし、白内障だしひどい状態には違いないけど、おぼつかない足取りなのに小屋には上手に出入りできるし、食欲もあった。スタッフに抱っこしてもらったら嬉しそうに

はしゃいだ素振りも見せてくれ、寝床を整える仕草なのか敷物を前足でかいた。

人に甘えるのも、抱っこしてもらうのも、敷物の上に寝るのも、どれだけこの子は無縁だったんだろう…排泄物の中、80cmあるかないかのロープに繋がれて暑い日も寒い日も多分10年以上ここにいたのか…。想像するだけでゾツとした。

飼い主さんとの手続きもあるし、ワンちゃんをすぐに引き取ってあげられる場所もない。ワンちゃんの現状をSNSで発信しつつ何をしてあげられるか考えた。

まずはドクターに往診をしてもらい、大きな疾患がないかどうかをチェックした。次にのび放題の毛をカットしてあげなきゃ、、、と思っていたら、なんと地元で出張トリミング&シャンプーをしているアイドックさんがボランティアを申し出てくれた！ご近所の方の店先を借りてアイドックさんの手により見違えるほどすっきりとした姿に生まれ変わった。

ワンちゃんの名前も「みーちゃん」だということがわかった。約14歳ぐらいの女の子だということも。

みーちゃんのお世話をするボランティアグループも出来た。みーちゃんのためにみんなが食器や服などを持ち寄った。そしてお世話に交代で通った。遠方からなのに毎日のように通ってくださるボランティアさんもいた。



お世話に行くと大きな声をあげて反応し、甘えてくるみーちゃんにみんな後ろ髪を引かれながら帰ってくる日々が続いた …

そんなある日、SNS での呼びかけに応じてみーちゃんの預かりボランティアを申し出てくれた方が現れた！ まーみんさんだ。まーみんさんは以前ワンニャン会から犬の飼い主さんになってくれた方で、成犬引き取りの経験がある。もしかして高齢のみーちゃんでもお願いできる方かも、と期待は膨らむ。

でもみーちゃんは大きな疾患こそないものの、耳や皮膚や器官などにいろんな疾患を持っており、食も細く目も見えない。外に繋がればなしのみーちゃんはトイレだってどこまでちゃんとできるかわからない… この状態のみーちゃんを預かることは簡単ではないだろう、と安易に想像でき、うれしい反面心配だった。

でもまーみんさんはすごく慎重に考えてくれた。みーちゃんに会いに来てくれ、長時間 様子を見てふれあい、家族とも相談し、しっかり検討し、そして受け入れを決めてくれた！ 相当な覚悟が必要だったはず。私は感謝でいっぱいだった。預かってくれた日からまーみんさんには 試行錯誤の毎日だったと思う。ずっと外にいたみーちゃんを室内に入れるだけでもチャレンジだ。トイレ問題に始まり薬もなかなか飲まない。偏食もあるので食事も工夫を重ねてくれた。耳や皮膚の病気で通院の日々。大変だったに違いないのに愛情いっぱい接し続けてくださった。

そしてとうとうみーちゃんに新しい飼い主さんも現れた…！ 申し出てきてくれた方は飼育経験も豊富なご夫婦。とはいえみーちゃんの状態を全て包み隠さずお伝えしても本当に受け入れてもらえるのか…。不安になりながらお伝えしたが、全部大丈夫です、とのお返事。受け入れて下さる思いの深さに涙が出た…。

そして今、飼主さんから届く動画や写真のみーちゃんは本当に幸せそうです！

つらい時間が長かったみーちゃん、でも最後はたくさんの人の思いがリレーされ 幸せになれました。関わっていただいた皆様、気にしていただいた皆様、本当にありがとうございました。

そして思う。動物は飼い主を選べない。想像してみてもほしい。自分は誰と暮らすか全く選択肢はなく意見も言えない立場で、そもそも言葉も通じない。頼る人もいないし、頼り方すらわからない。お腹が空いたり、のどが渴いたり、寒かったり、暑かったり、苦しかったり、寂しかったり… でも我慢するしかない。誰かに気がついてもらえなければ一生…。ものすごく悲しいけどこんな子は他にもたくさんいるだろう。

どうか安易な気持ちで動物を迎えないでください。動物と暮らしたいと思ったら、お金も時間も愛情も十分かけてあげられるか、その子の命が終わるまで面倒を見てあげられるか、今一度自分に問いかけてみてください…。

～みーちゃんの預かりボランティアまーみんさんから～

みーちゃんへ

まーみん

寂しそうに過ごしていたみーちゃんに出会って約3か月間、一緒に過ごせて楽しかったよ。最初はストレスで死なせはしないかと、心配と不安でいっぱいだったけど、何とか頑張ってたでしょ？

みーちゃんの性格が分かってきてからはママ楽しそうにお世話できてたでしょ？ママの顔も声も分かっていなかったけど、トントンって背中を叩いたら3回位しっぽを振ってくれるようになってきて、すごく嬉しかったよ。

トイレに行きたくなってきた時は、ウォンウォン鳴いて教えてくれたよね。お外トイレが好きだったから、雨の時は傘を2本さして2人共ビチャビチャになったね。買ったカッパは小さくてダメだったよね。

体重も何とか少し増えて、薬のおかげで体調も落ち着いてきた頃に、新しいお家が決まったと連絡があり、安心するやら寂しいやらでママの気持ちが大変な事になったよ。もっともっと幸せになって欲しい想いで送り出す事にしたよ。

私まで繋がった、みーちゃんの幸せがまだまだ続いていく事に感謝でいっぱいです。みーちゃんを見つけてくれた方、ワンニャン会のスタッフの皆様、その他のボランティアの皆様には感謝しています。

そして、新しくみーちゃんを迎えてくださる事を決断してくれた方の深い思いやりと勇気に感謝しています。

みーちゃん健康と幸せを祈るばかりです。
みーちゃん、いつまでも大好きだからね。

ママより。



犬猫繁殖予防病院オープン！

2023年9月に5年間限定で 犬猫繁殖予防病院がオープンしました。
約2ヶ月(体重1kg)の子猫から不妊手術が可能で、飼い猫も野良猫も手術費用は
5.500円、生後5ヶ月未満の仔猫は4.400円です。

手術日は木曜日ですが、ホームページなどで確認の上必ず予約が必要です。

この病院ができたことで紀南地方の野良猫問題に大きな変化があるよう願って
やみません。

譲渡条件が変わりました

よりよい譲渡を目指して譲渡条件を変更しました。

「譲渡前に医療処置を行い、その費用の一部を新しい飼い主さんにご負担いただく」「ご自宅確認をさせていただく」という形となりました。

運営寄付金は会のボランティアルームの各種経費、医療費、捕獲檻などの機材費、その他に充てさせていただきます。

当会は皆様からの寄付で運営しています。

ご理解の程よろしくお願いたします。

～犬や猫を家族に迎えたい方～

- ・生涯家族の一員として責任と愛情をもって育てていくこと
- ・一人暮らしや高齢の方は、緊急時に託せる方がいること
- ・転居や経済的事情など安易な理由で終生飼育を放棄しないこと
- ・家族全員が保護猫（犬）を迎え入れることに賛成していること
- ・ペット可の住宅に住んでいること
- ・飼育環境を確認させていただけること（脱走防止策がなされているか、危険物はないか、温度管理はなされているか、ケージ、もしくは落ち着ける部屋があるか（先住猫がいる場合はケージ必須・数に限りはあるが貸出もあり）等）
- ・猫の場合完全室内飼育で屋外に出さないこと
- ・犬の場合繋留飼育（つないで飼う）をしないこと
- ・小さなお子様がいらっしやらないこと
- ・仔猫（仔犬）の場合はお留守番の時間が長くないこと
- ・仔猫は病気の確定診断（エイズ・白血病等）ができない旨、了承していただくこと。後日、陽性反応が出ても飼育放棄しないこと
- ・ワンちゃん会からの追跡調査に応じていただけること
- ・住所・電話番号が変わった場合は連絡していただけること
- ・当会が不適切な飼育状態と判断した場合返還に応じること
- ・ワクチン等の医療処置をすること



- ・ 下記費用をご負担いただける方
 医療寄付金として 10.000 円（運営寄付金 5.000 円、ワクチン 1 回目、
 ウイルス検査含む） ワクチンのみの場合は 8.000 円
 他に手術済みでの譲渡の場合 10.000 円、追加のワクチン 1 回ごとに 3.000 円
 ☆運営寄付金以外は保護主さんにお渡しさせていただきます
- ・ 不妊去勢手術が済んでいない場合は必ず手術をうけること（譲渡時に 10.000 円
 お預かりし、手術が確認できたらお返しします）
- ・ お届けや自宅確認時にかかる交通費を負担いただけること（近隣以外）
- ・ 多頭飼育の場合は譲渡をお断りする場合があります
- ・ 身分証の確認をさせていただけること

～犬や猫を保護された方～

- ・ 動物病院で下記の健康診断を受け、異常があった場合は適切な処置を行うこと
 検便
 ノミ・ダニ・耳ダニ検査
- ・ 月齢に応じて下記の医療措置を行うこと
 （医療費は、後に飼主さんになられた方から医療負担金として一部補填されま
 す）
 ウイルス検査（エイズ・白血病）
 ワクチン接種
 ☆先住猫のいるお家への譲渡の場合はウイルス検査、ワクチン必須
 不妊去勢手術
- ・ 譲渡の際、家で使っていた猫砂・与えていたフードを持ってくること
- ・ 「家族に迎えたい方」の条件をご理解いただけること

※ワンちゃん会は保護された方と家族に迎えたい方との
 橋渡しをさせていただきます。保護はしていません。



事業報告

～通年事業～

- ※和歌山県地域猫対策支援事業
- ※飼い主のいない猫の不妊・去勢手術事業
- ※犬と猫の譲渡の仲介
- ※ドッグラン「リン」運営
- ※犬・猫飼い方しつけ相談

～2022 年度活動内容～

- 5月3日 花つぼみ主催フリーマーケット参加 新庄公園
- 9月5日 いきいきシニアリーダーカレッジ講演 田辺市民総合センター
- 11月7日 日本全国猫会議 人と動物の共生センター オンライン参加
- 12月4日 地域猫セミナー 講演 新宮市
- 12月11日 地域猫セミナー 講演 和歌山市
- 3月17日 地域猫説明会 古尾町内会
- 3月20日 ホット講座 ワンニャン会活動説明会 稲成町いおり
- 3月22日 動物愛護管理連絡協議会参加 和歌山市動物愛護センター
- 10月30日 花つぼみ主催フリーマーケット参加 新庄公園

- ・和歌山県地域猫対策への支援協力 約20か所 のべ178頭
- ・野良猫不妊・去勢手術補助 62匹
- ・犬・猫譲渡数 猫36匹
- ・地域猫推進相談 約50人



「紀伊民報電子版 AGARA」に飼い主さん募集コーナーが できました！

飼い主募集 (ワンニャン会)
https://www.kiilife.jp/opendata/wannyankai/

AGARA 紀伊民報

🏠ホーム / 飼い主募集 (ワンニャン会)
飼い主募集 (ワンニャン会)

行き場のない犬や猫などの動物達の「飼い主募集」ページは、ワンニャン会が公開しているオープンデータから作成しています。

譲渡をご希望の方は、写真をクリックして、ワンニャン会のホームページからお問い合わせ・お申し込みください。



黒ねこクー君
(黒/オス)



キジトラ白ソックス
(キジ白/オス)



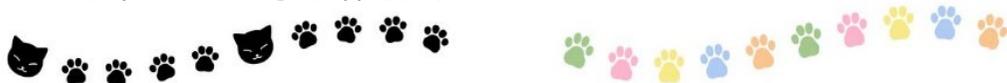
ゴロゴロのキジちゃん
(キジ/オス)



13匹の子猫達・三毛
(三毛/メス)

長年お世話になっている「紀伊民報電子版 AGARA」に9月より飼い主募集のコーナーができました。地元の方々により見ていただきやすくなりました。

どうか幸せになる子が増えますように、、、！



ボランティアさん募集

ワンニャン会ではボランティアさんを募集しています。自分にできる時間、部分のみで大丈夫です。犬猫を飼っていないもちろん大丈夫です。メンバーには飼っていない人もいます。まずは気軽にご連絡ください。

動物に関わるボランティア募集!!

ワンニャン会では活動の
お手伝いをしてくれる仲間を
待っています。
出来る範囲で大丈夫です。
まずはお気軽にご連絡下さい。



- 事務作業
チラシ作りやパソコン入力等
- イベントのお手伝い
- 地域猫活動
 - 不妊手術の為の捕獲・搬送
 - えさやり等のお世話
- ドッグラン整備
- 犬猫一時預かり



主な活動内容

- ・犬、猫の不妊・去勢手術の啓発推進活動
- ・犬、猫の不妊・去勢手術のサポート活動
- ・行き場のない犬、猫の飼い主探しの仲介
- ・子供の健全育成を育む活動
- ・犬、猫の育て方、しつけ相談
- ・地域社会での交流の場の提供



不用品提供のお願い

未使用切手・はがき、洗剤、古タオル、キャットフード、ドッグフード(未開封)

そのほか、バザー用品(衣類は未着用のもの・電化製品不可)
このような不用品がありましたら、ご提供をお願い申し上げます。



寄付のお願い

ワンニャン会の活動は、皆様の寄付によって支えられております。

賛助会員の募集もお願いしております。

ご不明な点などありましたら、お問い合わせください。

賛助会員年会費

- ・賛助会員 3,000円
- ・団体賛助会員 10,000円

振込先

郵便振替 口座番号 01080-7-36215

ワンニャン会 代表 中本宣子



「紀州ネコ砂」のご紹介



「紀州ネコ砂」とは田辺市龍神村、土木会社経営の川口さんが地元のスギ・ヒノキの間伐材で作ったネコのトイレ材の商品名です。

地元間伐材を使用することで、山の手入れや雇用の促進にもつながればという思いも込めて作られました。

消臭効果があり、清潔感のある木の香りがし、今まではどうしても取りきれなかったトイレの匂いがほとんど気にならなくなったという声が多く聞かれます。価格的にもリーズナブルで、燃えるゴミとして処分できることも魅力の一つです。

「紀州ネコ砂」の販売はKWカンパニー様が窓口になり売上金（経費控除）はワンニャン会に寄付されます。システムトイレ（すのこ式トイレ）用の商品の為、これを機にシステムトイレにチャレンジしてみようという方には、ワンニャン会からお試しのトイレの貸し出しも行っています。

「紀州ネコ砂」の詳細は下記の通りです。

この機会に試してみませんか？

～紀州ネコ砂～

紀州間伐木材 ヒノキ 100 パーセント使用・龍神産

容量 2.5 リットル (1.4 キロ) ※袋持参量り売りの場合 1 キロ/400 円

価格 600 円 税込み

使用方法 ・ネコ1頭につき1.5リットルで約一か月の使用が目安です。

・ウンチは毎日スコップなどで取り除いてください。

・交換は1か月に一度、全入替えしてください。

(使用状態によって補充しながらご使用ください)

・使用後は燃えるゴミとして処分出来ます。

※今後内容量と価格は変わることがあります。

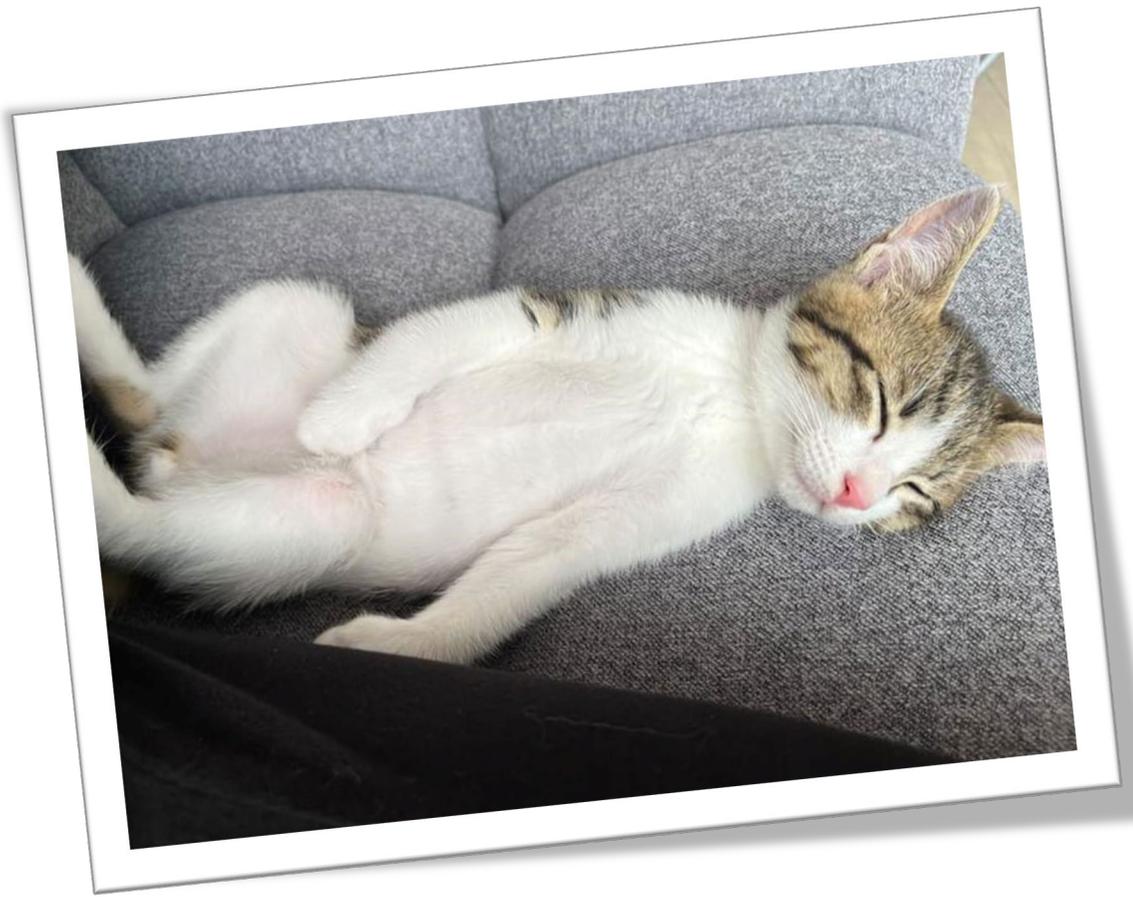
ご使用の砂から切り替える際は・・・

抵抗なく使用することも多いですが、よりスムーズに移行させる為に次の方法をお試しください。ネコのウンチを新しいトイレに入れ、自分のトイレという事を分かりやすくする。今までのトイレのそばに置いておきしばらくは併用してください。

本年4月に上富田町、小山獣医科病院の小山先生が亡くなりました。

小山先生には地域猫の手術を始め本当にお世話になりました。

心から感謝を申し上げますと共にご冥福をお祈りいたします。



2023・10

	会 報	
	18 号	

NPO法人 ワンニャン会

